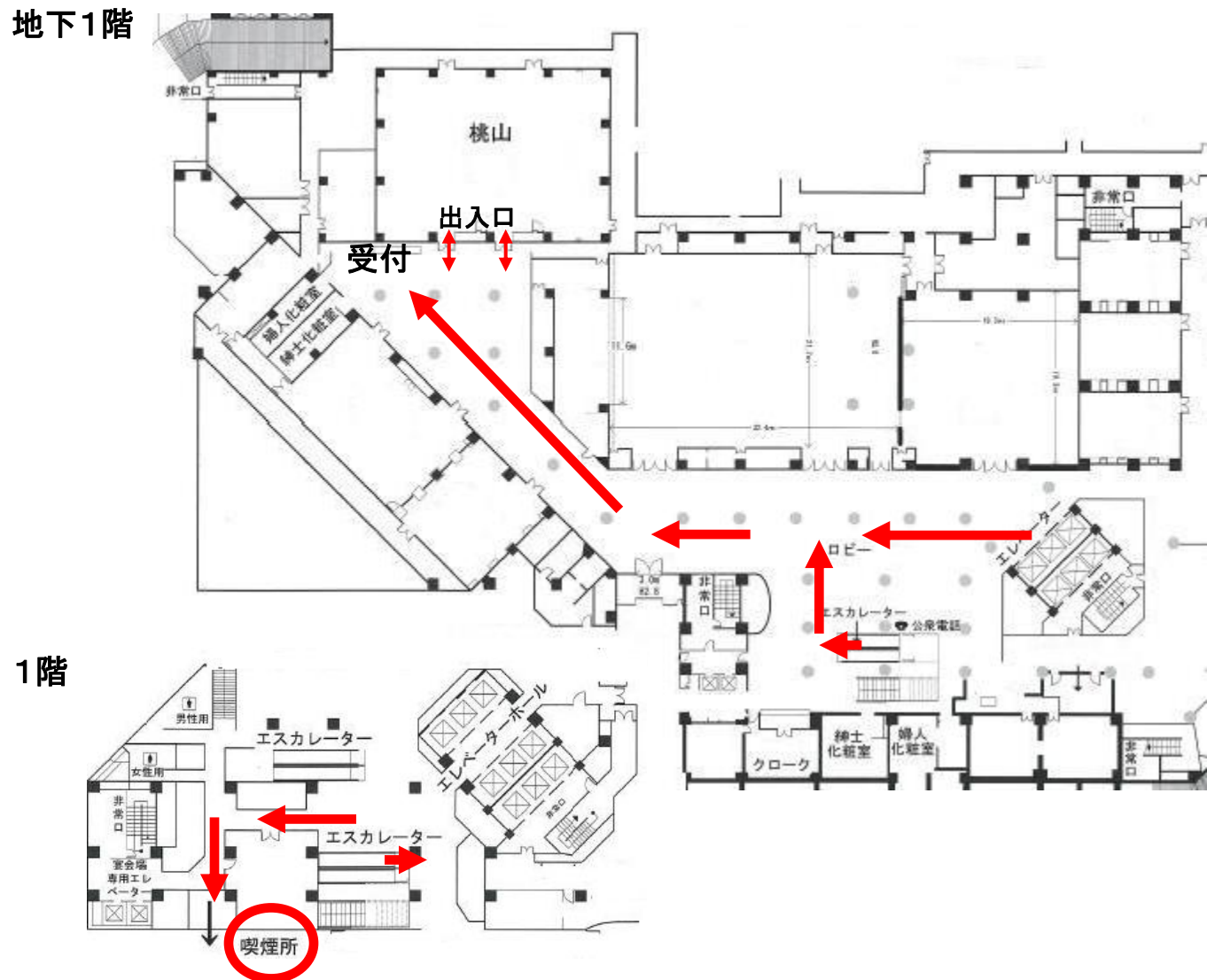


会場案内図



会場内でのお願い

- ・会場内は大変混雑いたします。お席は空けずに前からお座りいただき、手荷物を空いた席に置かないようお願いいたします。
- ・プログラム中の撮影録音は、ご遠慮ください。
- ・プログラム中、携帯電話、スマートフォン等の電源はお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。
- ・会場内での飲食はご遠慮ください。
- ・喫煙所は、1階所定の場所をご利用ください。
- ・プログラム中、具合の悪くなった方は、お近くの係員へお声がけください。

■お問い合わせ先

新公会計制度普及促進連絡会議 セミナー事務局

(東京都会計管理局 管理部会計企画課)

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎 12階北側

TEL: 03 (5320) 5963 (直通)

E-mail: S0000539@section.metro.tokyo.jp



平成27年11月13日(金)

会場 ハイアットリージェンシー東京

地下1階「桃山」

13:00~16:00(12:00開場/受付開始)

■主催 新公会計制度普及促進連絡会議

(東京都、大阪府、新潟県、愛知県、東京都町田市、大阪市、東京都江戸川区、大阪府吹田市、福島県郡山市、東京都荒川区、東京都福生市および東京都八王子市)

■後援 日本公認会計士協会

プログラム

13：00 主催者代表挨拶

東京都会計管理局長 塚本 直之

講演

13：05～13：50 「今こそ活かそう、公会計」

講師 川口 雅也 氏

■活用してこそその公会計 ― 昨今、「地方創生」が叫ばれる一方で、公共施設やインフラ資産の老朽化、社会保障費の増大など、全国の自治体が直面する問題は多岐にわたります。問題解決にあたり、限られた財源を「賢く使う」ためには、公会計情報の活用が必須です。公会計情報を、身近で活用するための解説を行います。

現場からの報告

13：55～14：20 「新公会計制度によるセグメント分析」

東京都町田市 財務部財政課 本郷 剛 担当係長

■新公会計制度を活用した取り組みである、セグメント分析についてお話しします。

14：20～14：45 「公有財産とインフラ資産の台帳整備について
～紙台帳から電子台帳へ～」

東京都江戸川区 総務部用地経理課 大野 宏道 用地係長

■台帳整備で苦労したことや、運用を見据えた財産管理方針についてお話しします。

15：00～15：25 「日々仕訳による新公会計制度の導入」

福島県郡山市 財政課 石井 章浩 主任主査

■制度導入の目的やこれまでの取り組み、さらには財務諸表活用に向けた現在の取り組みについてお話しします。

15：25～15：40 「日々仕訳の実務と制度運用」

東京都会計管理局 管理部 会計企画課

伊藤 正勝 新公会計制度担当課長

■従来からの制度と連携し、精緻な財務諸表を効率的に作成する方法をお話しします。

質問コーナー

15：40～16：00 ～「今、知りたい」にお応えします～

■講演者と報告団体が、事前にいただいた質問を中心にお応えします。

講師紹介

かわぐち まさや

川口 雅也 氏

【日本公認会計士協会 公会計担当研究員】



慶應義塾大学経済学部卒業、公認会計士。監査法人トーマツ(現：有限責任監査法人トーマツ)パブリックセクター一部を経て、公認会計士川口雅也事務所開業。平成24年10月以降、日本公認会計士協会公会計担当研究員として、全国の地方議会議員向け公会計研修会の講師を担当。主な著書は、『早わかり公会計の手引き』(共著・2009年)、『新地方公会計制度の徹底解説 連結財務書類作成実務のポイント』(共著・2010年)

報告団体紹介

■東京都町田市

平成24年度決算から新公会計制度を導入。
財務諸表に加え、「課別・事業別行政評価シート」を作成し、活用の充実を図っている。

■東京都江戸川区

平成27年度決算から新公会計制度を導入。
台帳整備をはじめ、平成27年度決算財務諸表の作成に向けて準備を進めている。

■福島県郡山市

平成27年度決算から新公会計制度を導入。
今年度から、日々仕訳による新公会計制度を導入し、運用を開始している。

■東京都

平成18年度決算から新公会計制度を導入。
平成27年度の決算で、節目となる10回目の新公会計制度による決算を迎える。

※プログラムの内容、講演者については、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。